

目標達成計画

作成日：平成 23年 12月 29日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I 6 (5)	○身体拘束をしないケアの実践 ⇒関わりの中で直接身体拘束となる行為は少ないが、職員の言葉かけの中で利用者の行動を制限している可能性が考えられる。職員間で個人や施設としての検証を行う必要がある。	・職員全体がその方のその時の状況に合った、その方本位な言葉かけを行うことができる。	・それぞれの棟で自分たちの関わりを振り返る。 ・個々のご利用者とはどう接していくか担当とケアマネ間で検討し職員に周知する。 ・その通りに関わり検証する。	12ヶ月
2	Ⅲ 26 (1 0)	○チームでつくる介護計画とモニタリング ⇒1か月毎のモニタリング、3か月毎の総括、6か月毎のプラン更新・変更が不十分などところがある。またプラン検討にご家族が参加していないこともあり意見が十分反映されていない場合がある。	・ケアマネジメントに関するマニュアルを作成し、全職員がそれに沿ってケアマネジメントを行っていくことができる。	・マニュアル作成にあたり、ケアマネ・計画作成担当間で現状の確認・検討を行う。 ・期間、担当者などを明確にしたケアマネジメン トマニュアルを作成する。 ・マニュアル通りになっているかを検証する。	12ヶ月
3	I 1 (1)	○理念の共有と実践 ⇒理念は掲げているが、開所当時のものであり、作成に参加した職員も少なく、地域密着の意義には全くふられておらず現状に見合ったものとは言えない。	・新しい理念を職員全体で作成し、それに沿ってご利用者と関わるができる。	・優先順位1の取り組み後に全職員でなかよし寿の家理念を考え新たなものにする。 ・その通りにできているかを定期的に検証する。	18ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月